

イタリアンライグラス品種選定のポイント

雪印種苗(株) 千葉研究農場

場 長 近 藤 聡

1 はじめに

イタリアンライグラスは、関東以西を主にトウモロコシなどの夏作の前作や、水田裏作用の牧草として広く利用され、栽培しやすく、高収量で、栄養価や嗜好性の高い牧草として、高く評価されています。その栽培面積は、他の牧草・飼料作物同様に、このところ減少する傾向にありましたが、水田を中心とした土地利用型農業活性化対策や粗飼料自給率の向上を目的とした作付が九州を中心に増加したことなどから、14年産の作付面積は6万7千800haと前年並の面積を維持しています。

このように重要な牧草ですので、当社では早くから品種開発に取り組み、また国等の試験場でも育種開発が進められ、様々な特性を持つ多くの品種が流通しています。

ここでは、当社育成のイタリアンライグラスを中心に、地域性や作型、利用目的に合った品種の選定方法について品種の紹介と合わせて述べることにします。

2 早晩性と利用型

イタリアンライグラス(以下イタリアン)は、極早生から晩生品種まで、出穂期の幅が1か月以上あります。また、基本的に1年生の牧草ですので、春から夏にかけて次第に生育が衰えますが、その程度は品種によって大きく異なります。通常、早生品種ほど早春から旺盛な生育を示し、春の限られた期間内での利用では晩生種より多収が得られます。しかし、それぞれの出穂期で収穫した場合や、長期に何度も刈取り利用する場合の合計収量は、一般に晩生種が多収となります。

イタリアンはその品種の生育期間と早晩性から表1のように分類されます。どの生育型の品種を選ぶかは、イタリアンをいつまで利用し、後作となる夏作の作付をいつにするかによって決まります。後作が早期水稲や早播きのトウモロコシであれば極短期利用型の品種を、標準播きのトウモロコシでは短期利用型を、イタリアンを長く使う場合は長期利用型を、草地的に通年利用する場合は極長期利用型品種を選定します。

3 利用形態による使い分け

青刈り利用

牧草と園芸・平成14年(2002)8月号 目次 第50巻第8号(通巻594号)



イタリアンライグラス
「ドライアン」

道内向・雪印の夏播き緑肥作物	表
イタリアンライグラス品種選定のポイント	近藤 聡 …… 1
トウモロコシ・ソルガムサイレージ調製のポイント	北村 亨 …… 5
カンラン新品種	
『YR萌美134』の特性を生かす上手な栽培方法	佐々木則雄 …… 8
身近な場所に色とりどりの草花を!	
スノーミックスフラワーシリーズ(府県向)	表
高品質・雪印のほうれんそうシリーズ	表

表1 イタリアンライグラスの生育型および早晚性と主な品種

生育型	特 徴	主な品種
極短期利用型	極早生タイプで早春から生育旺盛で短期多収だが、再生力は劣り生育衰退が早い。	ハナミワセ等
短期利用型	早生～中生系品種で春の生育が良好。1～2回刈りで収量性が高い。	タチワセ、タチマサリ タチムシャ、ドライアン等
長期利用型	中～晩生系で、再生力に優れ2～3回刈りで初夏まで利用できる。	マンモスB等
極長期利用型	晩生系で、耐暑性や耐病性が強く再生力に優れている。地域によっては越夏利用も可能。	エース等

青刈りで長期に多回刈り利用する場合は、再生力の強い晩生品種が適し、中～長期利用には「マンモスB」、長期～極長期利用には「エース」を選択します。青刈りでも比較的短期の利用で、夏作物につなげる場合は、中生の「タチムシャ」や「ドライアン」も適しています。

サイレージ利用

サイレージ利用では、水分含量が低く、予乾の早い早生系2倍体品種の利用が多くなっています。特に近年主流になっているロールペール、ラップサイレージ利用では、水分を50～60%まで落とす必要があるため、乾きやすい品種を使うことが調整上有利となります。また、風雨により倒伏すると、刈取り作業に支障が出たり、刈り残しによる収量ロスも多くなるほか、乾燥時間も余計にかかるので、倒伏に強い品種を選ぶこともポイ

ントとなります。よって、早生系では、「タチワセ」や「タチマサリ」中生系では「タチムシャ」が適します。

乾草利用

雨の多い府県ではなかなか良質の乾草を生産することが難しいため、サイレージでの調製を基本とすべきと思いますが、天候に恵まれれば乾草を自給することが可能です。そこで、できるだけ失敗しない様に以下のようなことに注意を払って品種を選定して下さい。

i) 天候の安定する時期に出穂する品種を選ぶ

生育ステージ別では、出穂前は水分が高く、出穂期、開花期と生育が進むに従って水分が低下するので、乾きやすくなります。ただし、出穂期以降は栄養価が低下し嗜好性も落ちるので、穂が出揃ったところに収穫するよう心がけ、極端な遅刈り



写真1 早春から生育旺盛な極早生品種「ハナミワセ」



写真2 直立型で、倒伏に強く、多収な早生品種「タチワセ」

表2 イタリアンライグラス主要品種の出穂期

西南暖地	3 / 下	4 / 上	4 / 中	4 / 下	5 / 上
関東	4 / 上	4 / 中	4 / 下	5 / 上	5 / 中
品種名	ハナミワセ	タチワセ	タチムシャ		
	ミミアオバ	タチマサリ	ドライアン	マンモスB	
	ウツキアオバ	ワセアオバ			エース
		ワセユタカ	ナガハヒカリ		
		ニオウダチ			アキアオバ

注) 出穂期は地域、気象条件等により変動することがある。

にならないように注意して下さい。

府県では、連休前後に天候が安定し、晴れの日が続くことが多いので、この時期に出穂期となる品種を選ぶのが良いでしょう(表2参照)。また2番草以降も利用する場合は、2番草を梅雨入り前に収穫できるよう、1番草の刈取りを5月上旬までに終わらせる品種を選ぶのが良いでしょう。長期獲りで晩生系品種を使う場合は、早生系品種を3~4割混合して播くと、収穫時期が早めることができ、全体の水分含量も低下するので良い方法です。

ii) 倒伏に強い品種を選ぶ

草丈が高くなる出穂期前後に強い風雨を受けると、倒伏が発生しやすくなります。倒伏すると水切れが悪くなり、乾きが遅くなったり、刈取り作業の効率が低下しますし、刈り残しが出たり、再生が悪くなるなどの弊害も起りやすいものです。最近開発された品種は、直立型で倒伏に強いものが多く、機械収穫に適し、作業効率が良く、降雨後でも地際から乾いているなど、予乾・乾燥効率に優れています。

iii) 茎の細い品種を選ぶ

茎は細い方が乾燥が早いので、なるべくそのような品種を選定します。一般に2倍体品種は、4倍体品種よりも茎も細めで、水分含量が低いので乾燥が早くなります。

新品种「ドライアン」は、2倍体の中生品種で、



写真3 茎が細く乾燥が早い中生品種「ドライアン」

上記の条件に最も合致する乾草利用向けの品種です。やや草丈が低めですが茎数が多く、実際の収量も他品種に優るとも劣りません。また、再生力や冠さび病抵抗性にも優れていますので、乾草生産を考えている方はもちろん、ロール・ラップサイレージ利用の方も是非1度お試し下さい。

4 その他の使い分け

水田裏作利用

イタリアンは根の量が多いため、耕起後に湛水してから、根が分解するときにガスが発生し、水稻の活着を阻害する場合があります。一般に早生品種ほど晩生品種にくらべ根の量が少なくなるので、早期水稻では極早生の「ハナミワセ」が、普通作では「タチワセ」や「タチマサリ」が良いでしょう。

九州では、水田裏作を利用した肉用牛の冬期放牧も良く見られます。この場合も上記と同じように水稻の作付時期に合わせて品種を選定します。5月中旬ころまでの利用であれば、早生の「タチワセ」を、6月中旬ころまで使う場合は、晩生の「マンモスB」や「エース」を選ぶと良いでしょう。

春播き利用

春播きでイタリアンを利用する場合、早生系品種は、ほとんどの品種が出穂に至りますが、晩生品種の中には「エース」のように冬の低温に合わ



写真4 耐暑性、耐病性に優れる晩生品種「エース」ないと出穂しない品種が多く、期待する収量が得られない場合があります。春播きで多回刈り利用したい、あるいは多収を得るために晩生系品種を使いたいという場合は、「マンモスB」のような春播き出穂性の高い品種を選定して下さい。

積雪地帯での利用

イタリアンは他の牧草やライムギなどに比べて、雪腐病に弱いので、根雪期間の長い多雪地帯

での利用には注意が必要です。イタリアンの中で比較的耐雪性の強い品種は、極早生では「ウヅキアオバ」、中生では「ナガハヒカリ」、晩生では「エース」ですので、積雪地帯ではこれらの中から品種を選ぶと良いでしょう。

暖地型牧草地への追播・冬期利用

西南暖地におけるバヒアグラス等の暖地型牧草の草地では、冬期は低温のため牧草が生育せず、放牧や採草利用ができません。そこで、年間の草地の利用率、収量を向上させるために、秋にイタリアンを追播する技術があります。この場合、春にイタリアンを利用した後は、暖地型牧草の草地にスムーズに移行できるようにするため、生育期間の長い晩生品種は避け、極早生の「ハナミワセ」または早生系の「タチワセ」といったなるべく生育期間の短い品種を選定するのが良いでしょう。

その他、目的によっては、イタリアンを麦類と混播して栽培・利用されるケースも多く、この混播栽培については、本誌7月号に紹介していますので、そちらを参照して下さい。また、表3に主要な品種の特性をまとめましたので、品種選定の参考として下さい。

表3 イタリアンライグラス主要品種の特性表

品種名	利用型	早晩性	倍数性	耐暑性	耐寒性	耐雪性	冠さび病抵抗性	春播出穂性	耐倒伏性	利用法		
										青刈り	乾草サイレージ	水田裏作
ハナミワセ	極短期	極早生	2	×		×						
ミナミアオバ	極短期	極早生	2	×		×						
ウヅキアオバ	極短期	極早生	2	×								
タチワセ	短期	早生	2	×								
タチマサリ	短期	早生	2	×								
ニオウダチ	短期	早生	2	×								
ワセアオバ	短期	早生	2	×								
ワセユタカ	短期	早生	2	×								
ナガハヒカリ	短期	中生	4	×								
タチムシャ	短期	中生	2	×								
ドライアン	短期	中生	2	×								
マンモスB	長期	中晩生	4									
エース	極長期	晩生	4					×				
アキアオバ	極長期	晩生	4					×				

: 極強、最適 : 良、適 : 中、やや適 × : 極弱、低